



SHUNYATA RESEARCH



afair/アルタイル



orion wire/オリオンの内部ワイヤー



aries/アリエス



antares/アンタレス



orion/オリオン



andromeda/アンドロメダ



aries-s/アリエス-S



Unlimiting performance through revolutionary design.

シュンヤッタ・リサーチは米国国家安全保障委員会 (NSA) 通信システムエンジニアとして活躍したケリン・ガブリエルと物理学者テリー・バッジによって1998年に誕生しました。二人のアイデアと知識で共同開発されたケーブル類は一躍ハイエンドオーディオ界の注目を浴びています。

シュンヤッタ・リサーチのパーツ、製品は使用材料の分子構造を変化させて性能と安定性を高めるために、コンピューター管理の下、摂氏マイナス190度という超低温処理がなされています。

ケリン・ガブリエルはコンステレーション・シリーズのスピーカーおよびインターコネクトケーブルなどに応用されている螺旋状の特殊編み上げ構造である90度カウンタークロス、ヘリックスカウンターローテート工法によって音質に害を及ぼすキャパシタンス、インダクタンスを最低限度に減少させるマトリックス・ジオメトリーを考案し、米国特許6242689を取得しています

長年の研究と検証によってピュアな信号伝達を最優先課題とし、皮膜やプラグなどのパーツから炭素や鉄成分を排除し、独自開発した材料を使用しています。また、トライフィールド・ブレイド・シールド方法で各コンダクターをそれぞれ分離し、電磁波、ラジオ波に対して高いシールド効果を達成しました。その優れたパフォーマンスにより、「カッティングエッジのケーブル」はシュンヤッタ・リサーチという図式が世界各国のハイエンドユーザーから認められ、称讃されています。

ヘリックスジオメトリー特許US64242689
コンステレーション・シリーズに採用したヘリックス・ジオメトリーは特許取得の非常に手の込んだ最新テクノロジーです。ケーブルは電気抵抗、インダクタンス、キャパシタンスを生まれながらにして保有し、性質上それから逃れられません。二重ヘリックスカウンターローテート工法は90度交差を各コンダクターに与え、自己誘導したインダクタンスも最小限に抑え、縦方向に太いケーブルや束になったケーブルを進行する電磁波によって発生する抵抗を減らし、音楽再生に新たな息吹を与えてくれるのです。

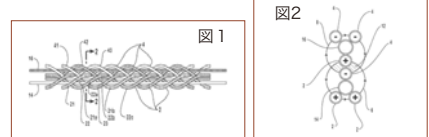
リスナーが音楽に没頭するための大切な要素である音色のデリケートな構造、ディテールに富んだ情報を失わずにハイスピードで音楽信号を伝達します。細やかで明晰なダイナミックコントラストはヘリックス・ジオメトリーによる大きな効果です。ヘリックス構造コンステレーション・シリーズは音楽信号の全帯域、音色の繊細さをそのまま伝達します。ご使用のオーディオ機器は最高域から最低域までの一貫した表現を得て、類を見ないすばらしい音楽を演奏することでしょう。

アンプとスピーカーを結ぶには断面積の大きいワイヤーを使用し最短距離で結線する方法が最良と考えられがちですが、物理的な見地から検証するとより複雑な要素が絡んできます。全てのケーブル、ワイヤーにはそれぞれにレジスタンス、インダクタンス、キャパシタンスという3種の抵抗が存在します。理想のスピーカーケーブルとは、全ての抵抗要素がゼロであること。そのために、単純な設計のアプローチはコンダクターを大きくするか、複数のコンダクターを使用してケーブルの純粋抵抗値を減らすこととなります。ところがこの方法ではケーブルのキャパシタンスとインダクタンスを増大させてしまい、音質にとってはその増大は純粋抵抗より遙かに有害なの

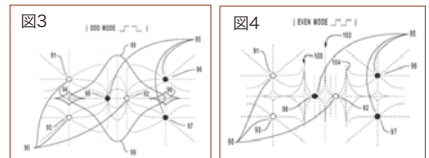
です。純粋抵抗はリニア係数ではかれるものですが、インダクタンス、キャパシタンスとも周波数帯域によって変化するノンリニア関数なので、オーディオ機器の本来の能力が完全に発揮できません。

ヘリックス構造はリアクタンスの諸問題を解決しました。セパレーションは大きく取れ、90度交差はキャパシタンスを最小限度に落とします。独特なカウンターローテートは、インダクタンスを最小限に抑える電磁フラックスフィールドを無関係に散らすことによって、進行方向にオフセットします。

図1は3x3ブレイド・ヘリックス構造を示しています。どの部分をとっても非常に複雑な構造のために、この構造を完成させるには全ての工程を手作業に頼らねばなりません。図2は同じ3x3の断面です。2本のスパイラルが外方向に向かって回転し、縦方向にオフセットされている点にご注意ください。この独自の構造が外部の電磁波、ラジオ波を拒絶すると同時にキャパシタンス抵抗、インダクタンス抵抗を最小限に押さえるのです。



最先端コンピューターモデルを駆使したR&Dによって信号伝達の構造を発見しました。3,4図は磁気フラックスがコンダクターを通過する信号の逆相波となって干渉していることを示します。



コンステレーション・シリーズ スピーカーケーブル

ジェミニ・スピーカーケーブル

ジェミニはアンドロメダ、オリオンに取り入れた、超低温処理2重カウンターローテティング、オフセットヘリックスジオメトリーというシュンヤッタ・リサーチ独自の技術を投入し、リーズナブルなコストで仕上げたどなたにもおすすりできるスピーカーケーブルです。特に、高効率スピーカーにベストマッチのハイパフォーマンスケーブルです。

アンドロメダ・スピーカーケーブル

シュンヤッタ・リサーチの誇る複合マトリクスデザインの原型となり、アンドロメダによって電磁波、誘電インダクタンスの干渉抑圧効果に対し、特許6242689を取得しています。複雑なヘリックス・ジオメトリーを実現し、2重カウンターローテティングに絶対条件となる90度交差角度を維持するため、工程はすべて手作業で行われます。その結果、初期の目的であるヘビーゲージワイヤーの縦方向に電磁界が進行する時に起こる抵抗を最大限に減少させることに成功しました。

究極的なスピード、ダイナミックコントラストを持つと同時に音楽信号のデリケートな構成部分やディテール表現をも忠実に伝達し、聴き手をかつて無いレベルで音楽に没頭させるケーブルです。無限の再生帯域幅、音色の細やかさ、超高域と超低域の一体感、それが究極のスピーカーケーブルといわれる所以です。

オリオン・スピーカーケーブル

シュンヤッタ・リサーチの発明と特許技術をふんだんに取り入れたコンステレーション・シリーズ最高スピーカーケーブルです。合計断面積7awgという大きさにもかかわらず、二重カウンターローテティング技術によりパフォーマンス、柔軟性、使いやすさ、という特徴を持っています。太く巨大なスピーカーケーブルに感じられる欠点は一掃され、オリオンはハイスピード、ニュートラル、明晰度の優れたケーブルとなりました。

超高速で音楽信号を伝達し、低域の正確さとピッチを明瞭に再現するために、ダイナミックインパクトは非常にはっきりとしています。この特徴は全体的な音色バランスを犠牲にした銀線、リボン構造のものに見られる特徴ですが、オリオンは正確な時間整合、明瞭なダイナミックコントラストを備えています。しかも、音のボディ、ウェイト、倍音密度をはっきりと聞き取れるレベルで提供し、ごく自然な音楽再生をもたらします。

アリエス/アリエスS インターコネクト (RCA,XLR)

アリエスSは600本以上の絶縁された超高純度低温処理銅材を使用した純粋リッツ導線でマイクロレベルの超薄絶縁体により絶縁。独自の螺旋構造とインナー・スリーブによる導線を隔離しクロストーク、磁化誘電歪みを最大限に抑制しました。

アリエスにはクロストーク、信号伝達時に発生するEMF(電磁フィールド)を最低限に抑えるヘリックス構造マトリクスが応用されています。アリエスに使用した絶縁体は透明で、非常に薄いメディカルグレードの保護被膜によって覆われています。600本以上の超高純度低温処理銅リッツを導線ベースとなっています。振動によって引き起こされるひずみを排除し、独自処理によって接続機器と電気的に一体になるプラグを装着したニュートラルな、ハイスピード・インターコネクトケーブルです。

あらゆるタイプのアンプにおいてテスト検証された結果、アリエスはハイスピードを維持し、透明度が高く、ローレベルの解像度も非常に優れているために、機器の持つキャラクターや特徴を余すところ無く伝える点がアンプメーカーから高く評価されています。しかも、あたかも命を持ったような重量感のある再生や、音色の細やかなニュアンスをそのまま伝達します。アリエスSは銅線によるシールド効果によって、ラジオ波の条件が悪い環境でその性能をフルに発揮するケーブルです。ピュアブレード銅ワイヤーシールドによってオーディオ信号を外部ノイズから守り、ピュアな再生を約束します。

アリエス フォノ/ビデオインターコネクト

アリエス デジタルインターコネクト

アリエスの特徴をそのまま、フォノケーブル、映像信号の伝達に適用したもので、微細信号故に失われがちな情報も外部ノイズの悪影響から完全に保護し、伝達します。

デジタルケーブルは帯域にかかわらず一定のインピーダンスをコンスタントに維持し、デリケートな信号を完璧に守りつつ伝達します。デジタル信号の伝送リンクとして、また、レコーディングやマスタリングのリファレンスケーブルとして、シュンヤッタ独自の構造がひととき優れたパフォーマンスをお約束します。シュンヤッタのピュアカッパーブレードシールドによってノイズ成分が非常に低いレベルで分離されます。この二重シールドはラジオ波による干渉、パワーサプライノイズからデジタル信号を守ります。

コンステレーション・シリーズ インターコネクト

アルタイル、アンタレス

CDA-101銅材、超低温処理という特徴に加えて、コンステレーション・シリーズの特徴であるヘリックス構造、二重カウンターローテティング特許技術を応用したインターコネクトケーブルです。アルタイル、アンタレスともそのサイズからは想像できないほどリアクティブ・インダクタンスとキャパシタンス抵抗が少なく、あらゆる機器と組み合わせても非常に高いパフォーマンスが得られます。的確でにじみのない時間特性、空間情報、ダイナミック特性をごく自然な音色で再現します。スピード、透明感に加え、ウェイトが加わり、ある種の凄みを体感できるケーブルです。また、プラグにはシュンヤッタの面目躍如といわれる超低温処理RCA,XLRプラグ使用し、ケーブルと機器とを一体化することに成功しました。

アルタイル、アンタレスはシュンヤッタ・リサーチの理想とするケーブルデザインとパフォーマンスを具現化したインターコネクトケーブルです。シュンヤッタ・リサーチのケーブルはその品位のある音質と素直さをはじめとする様々な特徴によって、音づくりのうえで重要な役割を担うマスタリングスタジオでも活躍しています。ピンクフロイド、ディビッド・ギルモア所有のアストラスタジオで使用されているのははじめ、匠といわれるミキサーエンジニア、ダグ・サックス、ジェームス・ガスリーは、マスタリングにシュンヤッタは不可欠と手放して評価しています。ピンクフロイドの名作、「狂気」のSACDリマスターにおいて最終段階の音決めに於いても多用されています。米国で唯一SACD製造施設として認定され、高品質な5.1チャンネルマスターシステムで知られているクレストナショナルスタジオでもDVD、CDのマスタリングなどの高品位再生音を求める作業にはシュンヤッタ・リサーチのケーブルを独占的に使用していますし、内外のプロフェッショナル、オーディオファイルの間で使用され評価されております。

SHUNYATA RESEARCH

■インターコネクトケーブル

シュンヤッタ独自構造	アリエス <small>デジタル/フォノ/ビデオ</small>	アリエス <small>インターコネクト</small>	アリエスS <small>インターコネクト</small>	アルタイル	アンタレス
特許6242689ヘリックス構造				3×3	4×4
二重カウンターローテティング				●	●
シュンヤッタCDA-101銅材導線				7本	9本
断面積				16AWG	14AWG
純粋リッツコンダクター	●	●	●	●	●
超低温処理銅材	●	●	●	●	●
600以上の絶縁された導線	●	●	●	●	●
マイクロレベル絶縁被膜	●	●	●	●	●
独自のトリアキシャル構造	●				
独自のスパイラルヘリックス構造		●	●	●	●
ピュアカッパーバフェクトレブレイドシールド	●			●	
絶縁構造					
絶縁導線ストラッド	●	●	●	●	●
クロストーク、自己誘導ひずみを低減	●	●	●	●	●
メディカルグレード絶縁、皮膜					
高柔軟性	●	●	●	●	●
無染料、顔料	●	●	●	●	●
堅牢な表皮	●	●	●	●	●
共振ひずみの低減	●	●	●	●	●
コネクター					
ロッキングスタイルRCA	●	●	●	ゴールドブリッド	シルバーブリッド
ノイトリックXLR	●	●	●	シルバー	シルバー
高接触性	●	●	●	●	●

■スピーカーケーブル

シュンヤッタ独自構造	ジェミニ	アンドロメダ	オリオン
特許6242689ヘリックス構造	4×4	4×4	8×8
二重カウンターローテティング	●	●	●
オフセットヘリックスジオメトリー	●	●	●
シュンヤッタCDA-101銅材導線	16awg	16awg	16awg
導線数	6	8	16
断面積	12AWG	10AWG	7AWG
クロストーク、自己誘導ひずみを低減	●	●	●
超低温処理銅材	●	●	●
スベードプラグ	ゴールドコンボ	ロジュウムシルバー	ロジュウムシルバー
バナナプラグ(スベード代替)	●	●	●

